

第1回浜松市ユニバーサルデザイン審議会会議録

日 時：令和8年9月4日（金） 午前10時～11時35分

会 場：浜松市役所本庁8階 第3委員会室

出席委員：藤井尚子会長、鈴木篤人委員、鈴木ヒエン委員、鈴木墨委員、
中尾有希子委員、平井明樹夫委員、村松千香子委員、矢島利充委員

欠席委員：神谷紀彦副会長

事務局：中村美紀UD・男女共同参画課長、平澤啓樹課長補佐、田中勉UD推進グループ長、太田俊樹、柳井千尋、河嶋美夏

傍聴者：なし

会議録作成者：UD・男女共同参画課 河嶋美夏

記録方法：発言者の要点記録（録音の有無：無）

《会議次第》

- 1 開 会
- 2 UD・男女共同参画課長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 新任委員委嘱
- 5 委員自己紹介
- 6 事務局職員自己紹介
- 7 議 事
 - （1）令和8年度UD・男女共同参画課 主要事業について
 - （2）第3次浜松市ユニバーサルデザイン計画（U・ゆうプランⅢ）
第1期推進計画進捗状況（令和7年度実績）について
 - （3）第3次浜松市ユニバーサルデザイン計画（U・ゆうプランⅢ）
第2期推進計画の策定について
- 8 その他
- 9 閉 会

《配付資料》

- ・資 料 1：令和8年度UD・男女共同参画課 主要事業について
- ・資 料 2：第3次浜松市ユニバーサルデザイン計画（U・ゆうプランⅢ）
第1期推進計画進捗状況（令和7年度実績）について
- ・資 料 3：第3次浜松市ユニバーサルデザイン計画（U・ゆうプランⅢ）
第2期推進計画の策定について

《会議の経過》

1 開会

（事務局）

令和8年度第1回浜松市ユニバーサルデザイン審議会を開催する。

当審議会は浜松市ユニバーサルデザイン条例第18条に基づき、浜松市のユニバー

サルデザインの推進に関する調査、協議及び評価をする組織として設置されているものである。本日は、神谷紀彦副会長が都合により欠席である。

2 UD・男女共同参画課長あいさつ

中村課長挨拶

3 会長あいさつ

藤井会長挨拶

4 新任委員委嘱

中村課長より鈴木篤人委員、中尾有希子委員へ委嘱書を交付

5 委員自己紹介

6 事務局職員自己紹介

7 議事

(事務局)

当審議会は、「浜松市附属機関等の会議の公開に関する要綱」に基づき、公開会議とする。また、会議録の作成については、「浜松市附属機関等の会議録の作成および公開に関する要綱」に基づき、発言した委員の名前を記載し、公開することを了承いただく。

議事の進行については、浜松市ユニバーサルデザイン審議会運営要綱第4条の規定により、議長は会長にお願いする。

(1) 令和8年度UD・男女共同参画課主要事業について

(事務局)

令和8年度UD・男女共同参画課主要事業について説明。

(事務局)

始めに平井委員からの事前質問票に回答する。

(平井委員質問票①)

パートナーシップ宣誓制度の拡充についてどのようなニーズや課題が利用者や関係団体から寄せられていたのか簡潔に説明いただきたい。

(事務局回答①)

本市制度はパートナーシップを結ぶ二者の関係を宣誓するものだが、後発で制度を導入した自治体の中には、パートナーシップの関係にある者の子どもや親などの

近親者の関係性を宣誓するファミリーシップの考えを取り入れている自治体も増えている。5周年記念イベントパネルディスカッションの際にも、関係団体から本市制度にもファミリーシップの考えを取り入れてほしいとの要望が寄せられている。

（藤井会長）

議事1「令和8年度UD・男女共同参画課主要事業について」は承認とする。

（事務局）

第3次浜松市ユニバーサルデザイン計画（U・ゆうプランⅢ）第1期推進計画進捗状況（令和7年度実績）について説明。

（事務局）

平井委員からの事前質問票に回答する。

（平井委員質問票②）

UD学習支援事業について。受講先が固定していないか、新たな受講先がどれだけ増えているのか、これまで参加していなかった学校・団体への働きかけの状況について説明いただきたい。

（事務局回答②）

当課事業の中で令和7年度のUD出前講座実施校の新規は全体の20%だった。受講児童は毎年変わっているので継続して支援する必要があると考えている。周知については学年末に本市HPや市教育委員会の掲示板、市内全小・中・高等学校へメール送信を通じて周知するとともに、年度途中にも適宜追加募集の案内を行っている。新規校も含めて活用の働きかけを行っている。

（平井委員質問票③）

UD教材開発事業について。これらは実際の学校や現場からのニーズに基づくものなのか。教材開発にあたり、どのようなニーズ把握やフィードバックを行い、どのように反映してきたのか説明いただきたい。

（事務局回答③）

令和4～6年度に提供していたデジタル教材では好評をいただいた。その後継となる教材はよりリアルにアクト通りにあるUD施設を学べる内容で開発している。最近の異常気象等で校外学習が難しい期間が増えている。また遠方の学校もあることから、まちなかのUD施設を見学できるデジタル教材を準備しており、デジタルと現地での学習を選択できるように努めていく。

（平井委員質問票④）

はままつUD週間について。ファシリテーターを配置し、時間を区切った「楽しく安心して参加できる体験型の対話の場」をつくることを新しい方向性として提案し

たい。

(事務局回答④)

現時点ではUD週間の啓発内容を変更する予定はない。提案内容は今後の事業検討の際の参考にさせていただく。

(平井委員質問票⑤)

市民へのUD啓発について。市の Web サイトではUD実践セミナーの具体的な内容を見つけることができなかった。このセミナーではどのような内容を扱っているのか説明いただきたい。

(事務局回答⑤)

本市では初級編の「ユニバーサルマナーセミナー」を終了した受講者を対象として「UD実践セミナー」を中級講座と位置付けて開講している。実践的な講習を通じて多様な人々に対する具体的な配慮等についてより深く学ぶ内容となっている。

(平井委員質問票⑥)

ピクトグラムの周知啓発について。ピクトグラムにナンバリングを付けることで地図との整合がとりやすくなり、より効果が高まるのではないかな。

(事務局回答⑥)

設置ルールの設定や地図情報との連携、設置コストに課題があるが、今後の参考とさせていただく。

(矢島委員)

平井委員の質問票 No27 の障がい者就労支援事業についての補足。障がい者の就労について自立支援もしている。相談員がフォローアップしていることも付け加えておく。

(村松委員)

資料 2 について目標値の設定の仕方、その成果の指標はどのようにしているのか。No.40 行政手続きのオンライン化推進は広く浸透したので目標値を切り替えてそれがいかに利用されているかという指標に変えたのは必要なことだと思う。今後はオンラインを利用した人の満足度まで測り満足度がよければ成功と言ってよいのではないかな。UDに関しては前向きな取り組みではあるがやっただけで OK としている事業がたくさん見受けられるので指標の仕方等、次の計画を立てる時に見直してほしい。

(事務局)

各課での事業については別の計画との兼ね合いも有るが、よりつかみやすく効果がわかりやすいものになるよう働きかけていく。

(矢島委員)

No.50 八幡駅周辺バリアフリー化について感謝する。今後、田町第一通り駅もやるのか。

(鈴木篤人委員)

八幡駅はバリアフリー化が完成したが、第一通り駅バリアフリー化は本来なら昨年度に完成予定だったが、今年7月1日に共用開始となり、すべての高架駅のバリアフリー化が完成したことを報告する。

(藤井会長)

議題2第3次浜松市ユニバーサルデザイン計画(U・ゆうプランⅢ)第1期推進計画進捗状況(令和7年度実績)については承認とする。

(事務局)

第3次浜松市ユニバーサルデザイン計画(U・ゆうプランⅢ)第2期推進計画の策定について説明。

(事務局)

平井委員からの事前質問票に回答する。

(平井委員質問票⑦)

令和7年度ユニバーサルデザイン意識調査の報告書に記載されている年代別の回答状況について、年代別の偏りと全体回答数602件は少ない気がする。

(事務局回答⑦)

アンケートの回収結果として年配の方からの回答が多かったというところを踏まえて、次期計画を検討していく。

(平井委員)

全体回答数が1,000名ほどになるように発送すれば年代ごとの母数が上がり、意見の偏りが減って信頼性も上がるのではないか。

(藤井会長)

次回の調査の際には検討をお願いします。

(矢島委員)

防災・防犯の評価で47.2%とあるが、皆さんの関心が高まったことで、低い評価になってしまったのではないかと思います。今後も高齢者、障がい者用の避難所の整備など課題もあるがよろしくお願ひしたい。

(事務局)

災害発生等の要因などで関心が高まると不安感も高まり、もっと整備が必要という声の裏返しがこの結果に繋がっていることもあるのでそういったことも意識しながら進めたい。

(鈴木壘委員)

意識調査の報告書で、職業別のところで勤め人の割合 56.6%で学生が 3%は少ないと思った。駅の利用者は学生が結構多いので年齢層が 18 歳以上となっているがもう少し下の世代も入れたほうがよいのではないか

(事務局)

意見としては受けとめ、やりたいところである。

(鈴木壘委員)

例えば本校に依頼をもらえれば浜松市民対象で協力できる。

(事務局)

今回は 18 歳以上の無作為抽出でやっている。それとは別に学生の声聞くなど今後の参考にしていく。

(鈴木篤人委員)

基本的な考え方の中で市民の公共交通機関の利便性の取り組みの強化を検討するところがあるが具体的にどのような事をしようとしているのか。今の時点で考えがあるなら聞かせて欲しい。二点目として、今後公共交通機関のとらえ方としてタクシーも含めて市民に正確に伝えて欲しい。

(事務局)

取り組みの強化について現在具体的な方針については示すことはできないが、今後計画を策定していく中で交通政策課等担当部署と話し合い、強化していくところについて確認して盛り込んでいく。もう一点、今後は意識調査において公共交通機関がバス・電車・だけでなくタクシーも含まれるという事を市民に分かりやすい形で示して調査をしていく。

(鈴木篤人委員)

現在、交通政策課と 10 月から大久保地区で実証実験を予定している。利用が少ない日中に 10 人乗りの大型車両で基幹路線のバス路線に接続をして乗り換えていく実証実験をやっていく。既存の交通機関と体系を変えながら利用しやすい公共交通を行政と事業者が連携してバス以外の公共交通の体系を再検討している。

(藤井会長)

議題 3 第 3 次浜松市ユニバーサルデザイン計画 (U・ゆうプランⅢ) 第 2 期推進計画の策定については了承する。以上で議事は終了する。

4 その他

事務局より第2回浜松市ユニバーサルデザイン審議会日程について連絡。次回は11月16日（月）午前10時開始としたい。改めてメールにてご案内する。

5 閉会